

事業番号	15 03 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・局・室	高校教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開				実施期間	H17 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	生活支援相談員を中心とした高校生活支援体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が、日本語(特に読み書き)や日本独特の風習・習慣の壁をスムーズに乗り越え、併せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に人間関係を構築して社会的、経済的自立ができるちからを身につける。														
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 県立高等学校に在籍する外国籍生徒の数は、平成22年度に300人を超え、平成27年度には308人となっている。 外国籍生徒の増加に伴い、日本語の理解や使用、授業や日常生活に支障のある要支援生徒数も相対的に増えている。同時に、当該生徒の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。 														
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業					県民との協働による実施：実施は困難								
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)														
	各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着、生活相談などを支援する。														
	② 事業内容 (単位:千円)														
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)		(予算案)							
	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	相談員配置校 20校 相談員配置数 20名 相談等従事時間数 1.030時間	3,075	3,075	3,075									
	合計			3,075	3,075	3,075									
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案		成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越								項目	H26末	H27末(見込)	H28		H29目標
		当初予算	3,059	3,075	3,075	3,075	目標	成果	達成状況						
		補正予算													
		合計(A)	3,059	3,075	3,075	3,075	100%	100%	100%						
	Aの財源	一般財源	3,059	3,075	3,075	3,075				対象生徒のアンケート満足度「助かっている。」の回答率	100%	100%			
		県債													
		国庫支出金													
		その他	0	0	0	0									
	決算額(B)		2,996												
概算人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50										
	概算人件費(C)	4,129	4,129	4,129	4,129										
概算事業費(B(A)+C)		7,125	7,204	7,204	7,204										
指摘事項等への対応		(指摘事項等)				(対応)									
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善															
要求からの主な変更点		要求どおり													